

平成31年度 事業報告書

大慈ひょうご幼保連携型認定こども園

1. <基本方針>

- ①安全を第一に考え、子どもが安心して元気に活動できるよう工夫し努力した。
- ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努めた。

2. <平成31年度報告>

- ①教育・保育理念をよく理解し、丁寧に保育を行った。
→子どもが主体的に活動できるよう、検討を重ねている。
- ②異年齢の関わりを深める。
→3歳児以上は異年齢の活動を少しずつ取り入れた。
- ③子どもや保護者、地域とのより良い信頼関係が保てるよう積極的に関わった。
→職員紹介ニュースを発行し、保護者に職員を早く覚えていただき、親近感を持っていた
だけするようにした。
→地域の施設・学校・関係者に園だよりや行事の案内等を配布するとともに、積極的に働
きかけ、関係を深めていくようにした。
→要支援家庭に対して、子どもの様子や家庭の状況など話し合う場を持つようにし、変化
を見逃さないようにした。要支援家庭の報告を毎月、区の保健部に送り情報の共有をし
た。
- ③資質向上のため、職場内、職場外研修を行い全職員で共通理解をする
→・キャリアアップ研修をはじめ、区内研修、公私合同研修等の職場外研修は研修報告を
行い園全体での共通理解に努めた。
・教育・保育部門合同研修に参加した。
11月7日(木)、8日(金)、19日(火)、20(水)「子どもの主体性を育むため
の保育実践」における各園からの実践報告と質疑応答をして意識を高めていった。
・必要に応じて乳児・幼児・リーダーの会議を行い、ミーティングや職員会議で周知す
るようにした。
- ④人材確保・定着に努めた。
→保育書類をiPadで作成し、効率化に向けて取り組んだ。
- ⑤行事に地域の方をご招待して、地域交流を深め、地域に根付いた園であり続けた。
地域の空き地をお借りして、季節の花を育てることにした。→水やりをした。
- ⑥リスクマネジメント会議、園全体の安全チェックを月1回行い、安全を確保した。
→各園の会議だけではなく、チーム会議で話し合い、全園で情報を共有し安全を確保した。

3. <行事>

※年間行事

月	行 事
4月	入園式
5月	春の遠足(いちご狩り) 防災フェア 交通安全教室
6月	食育フェア お楽しみ会 歯科教育指導
7月	全園児プール開き プラネタリウム(5歳児) 七夕まつり 夏まつり
8月	プール参観 小学校プール お年寄りとの交流会 ワークキャンプ受け入れ

9月	お泊り保育
10月	運動会 秋の遠足(全園児) 兵庫区ふれあい会 お楽しみ会
11月	焼きいも大会 参観ウィーク 作品展 兵庫区なかよし会
12月	ドレミコンサート クリスマス会
1月	おもちつき そりあそび遠足 (雨天につき水の科学博物館に変更)
2月	豆まき よいこの集い(5歳児) 生活発表会 防犯教室
3月	おひな祭り 卒園式

※月間行事(月1回)

お誕生日会 発育測定 防災訓練 防犯訓練

その他

- ・全園児避難訓練(火災) …月1回
(地震・津波・SIDS・水難事故・痙攣など) … いずれか月1回
- ・消防士の指導による避難訓練と消火訓練 … 年1回
- ・防犯訓練(警察の方による、不審者侵入による防犯訓練) … 年1回
(保育者が不審者になり、園全体で防犯訓練) … 年4回

※3月後半は、コロナウイルス感染拡大防止のため、遠足、お別れ会、誕生会、防災訓練などは中止。

卒園式は、2部に分けて行った。

4. <<保健衛生報告>>

項目	頻度等
園児・職員定期内科健康診断	園児5月・11月 年2回 職員年1回
園児歯科健診	6月・11月 年2回(4,5歳児)
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児眼科健診	6月 年1回
園児身体測定	月1回
園児検尿	兵庫県予防医学協会により年1回
調理員・全職員検便	(株)有研により月1回以上
調理室の消毒	サニックスにより月1回
グリストラップ清掃	乾商事により年5回

5. 《平成31年度在籍児一覧表》

2・3号認定こども

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	7	18	18	20	20	18	101	112%
5月	8	18	18	20	20	18	102	113%
6月	9	18	18	20	20	18	103	114%
7月	9	18	18	20	19	18	102	113%
8月	9	18	18	20	20	18	103	114%
9月	9	18	18	20	20	18	103	113%
10月	9	18	18	20	20	18	103	113%
11月	9	18	18	20	20	18	103	113%
12月	9	18	18	20	20	18	103	113%
1月	9	18	18	20	20	18	103	113%
2月	9	18	18	20	20	18	103	113%
3月	9	18	18	20	20	18	103	113%
合計	105	216	216	240	239	216	1232	113%

1号認定こども

	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	3	3	4	10	111%
5月	3	3	4	10	111%
6月	3	3	4	10	111%
7月	3	3	4	10	111%
8月	3	3	4	10	111%
9月	2	3	4	9	100%
10月	2	3	4	9	100%
11月	2	3	4	9	100%
12月	2	3	4	9	100%
1月	2	3	4	9	100%
2月	2	3	4	9	100%
3月	2	3	4	9	100%
合計	29	36	48	113	105%

10. 《リスクマネジメント》

医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

平成31年度 事故 4件

平成30年度 事故 6件



○まとめ

事故件数は少なくなっている。砂場周りのコンクリートでこけると、傷が深く、大きくなるので、コンクリートの部分にクッションになるものを敷き、改善に繋げていきたい。

1 1. 《苦情・相談結果報告》

苦情の定義→園長が直接対応した件を苦情とする。

○報告件数・・・4件

平成31年度			平成30年度				
報告件数	合計件数	苦情	相談	報告件数	合計件数	苦情	相談
	4件	2件	2件		2件	1件	1件

○まとめ

園周辺の駐車禁止の所に保護者が度々駐車するのを見かねた近隣の方から、警察への通報があったため、近隣の方のご迷惑になっていること、事故防止のことなどを、ポスターや手紙で保護者に知らせたり、個人的に声を掛けて協力を求めていった。

また、職員の子どもに対する関わり方での問題を提起されたり、保護者への説明の仕方への不服などがあがった。子どもへの対応は、間違った行動に対して、向き合っ言葉で真摯に説明していく大切さを、職員間で周知した。保護者に対しても現状（お産を控えて不安な状態）を把握して言葉を丁寧に取り添っていく大切さを感じた。

1 2. 《総括》

将来どの様な時代が来ようと、子どもたちが自分の力で、たくましく生きていけるようには・・・という観点から、今年度夏頃から、全園において、子どもの主体性を育て、非認知能力を高める保育をめざす方向性がとられることになった。教育・保育の取り組み方を職員間で、模索しながら取り組んでいった。子どもからの発信の受け取り方、環境の整え方、展開の仕方など課題が次々にあげられ、話し合いを繰り返し行っていった。

特に幼児クラスは、常に何がしたいか？どんなことから取り組むか？等、一つ一つを子どもたちと相談して進めるようにした。

年長クラスにおいては、自分たちがしたいと思ったことに取り組む姿、やり遂げた達成感、一人一人の大きな成長に繋がったと感ずることができた。来年度からは子どもの興味関心をより注意深く捉えて、あそびへの取り組みが広がるようにしていきたいと思う。

各家庭ごとに丁寧に関わることで、保護者との信頼関係が築かれているのを感じている。来年度の保育や行事への取り組み方など、変わることは丁寧な情報発信に努め、理解・協力していただけるよう努力していきたい。

1月末から起こり始めた新型コロナウイルス感染症の拡大で、年度末の行事が中止、延期、変更になり、子どもとの1年のしめくくりの活動が行えず残念だった。園でも消毒、手洗いを徹底して、感染拡大防止を心掛けていきたいと思う。